



養父市で進む食品支援の新しい取り組み

養父市社会福祉協議会は、農林水産省の補助を受け、買い物困難者や経済的に困窮している人へ、円滑な食品アクセスを確保するプロジェクトをすすめています。

発行／養父市社会福祉協議会
発行日／令和8年7月15日

移動販売が支える地域の暮らしとつながり

5月19日、移動販売活性化協議会の参画事業者である(有)フードショップ マルコさんの移動販売に同行し、八鹿地域の販売ルート(坂本・下小田・下町・宮町)の様子を見学しました。

地域の高齢者の買い物の様子を通して、移動販売が日々の暮らしにどのような役割を果たしているのかを聞き取りました。

移動販売車が買い物エリアに近づくと、おなじみの音楽が流れ始めます。

この音色が「到着」の合図となり、待っていた住民の皆さんが次々と集まってきます。



「買い物に来ること」が楽しんでいる

移動販売車には、肉・魚・野菜・惣菜・菓子・日用品など、日々の生活に必要な商品が並びます。利用者みなさんは、商品を手に取りながら「今日は何を買おうかな」と楽しそうに選んでいました。

「自分の目で見て好きな物を買いたい」「毎週ここに来るのが楽しみ」そのような声も聞かれ、買い物そのものが生活の楽しみになっていることが伝わってきました。



移動販売は“暮らしを支える存在”

利用者からは、「免許を返納したので、移動販売車が来てくれると本当に助かる」「冬場は雪が積もって外出しにくいので、特にありがたい」「手作りのお弁当を毎週受け取っている」といった声もありました。

身近な場所で買い物ができることが、安心して暮らし続けるための大切な支えとなっていました。

スタッフは利用者一人ひとりの好みや必要な物を把握し、次回に用意するなど、きめ細かく対応していました。

地域の交流の場、見守りの場にも

移動販売の場では、利用者同士が自然に会話を交わし、笑顔で交流する姿も見られました。

「買い物に来て地域の人と話をするのが楽しい」という声もあり、移動販売は“買い物の場”であるだけでなく、さらに“人と人がつながる場”や“そっと見守り合える安心の場”にもなっていました。

商品への信頼と満足度

手作りの赤飯、巻きずし、総菜などを買求める利用者が多く、「マルコさんの惣菜は地元の食材を使って作られているので、安心して食べられる」「すぐに食べられるし、おいしい」と好評でした。





令和7年度 第3回

食品アクセス確保のための地域協議会を開催しました

「みまたん宅食どうぞ便」についての研修

令和8年2月27日、令和7年度第3回食品アクセス地域協議会を開催しました。先進地の宮崎県三股町社会福祉協議会のコミュニティデザインラボ所長、松崎亮氏を講師に迎え、食でつながる新たな応援のカたち「みまたん宅食どうぞ便」について研修を受けました。この事業は、単に食の支援だけが目的ではなく、**食品を届けることをきっかけに家庭とつながり、外から見えない“つらい”に寄り添うための入り口支援**です。

どうぞ便を通じて、生活支援、学習支援、就労支援、不登校支援など必要な支援へつながっています。どうぞ便という名称には、“たくさんあるから、どうぞ”という温かい気持ちが込められています。現在は、町内約100世帯が利用しており、月に一度、世帯一人当たり10食分の地場の野菜、米、手作り味噌、町内のパン屋が提供するパンなどの食材と共に、簡単に作れるレシピも添えてボランティアが届けています。



グループワーク

「買い物困難者部会」と「経済的困難者部会」に分かれ、これまでの協議内容を踏まえながら、これから先5カ年の食品アクセス確保に関する活動について意見交換をしました。

買い物困難者部会

- 移動手段の不足が大きな課題であり、誰でも利用しやすい地域内移動の仕組みづくりが必要
- 地域が実施しているサロンなど人が集まる場所へ移動販売車に来てもらう

経済的困難者部会

- 食料支援をきっかけに、相談や自立支援へつなぐ体制づくりが必要
- 孤立を防ぎ、地域とつながれる“つどいの場”やネットワークづくりを進める

家庭と地域をつなぐ

見守り支援

養父市社会福祉協議会では、「支援対象児童等見守り強化事業」を実施します。

この事業は、子育て家庭に食品などを届けながら、子どもや家庭の様子を見守り、必要な支援につなげる取り組みです。訪問時には、生活の困りごとや子育ての悩みなどを聞いて、必要に応じて福祉、子育てなどの関係機関と連携しながらサポートを行います。「誰かに相談したいけれど、どこに相談したらよいかわからない」「子育てに不安を感じている」そんなご家庭とのつながりを大切に、安心して子育てができる地域づくりを目指しています。食品等のお届けは、単なる物資支援ではなく、**家庭と地域をつなぐ“見守り”と“寄り添いの入口”**としての役割を担っています。

基本的な活動

状況の把握



弁当のお届け
(週1回)



関係機関への
つなぎ支援



定期的な状況の把握・支援



見守り支援

- ・生活状況の把握
- ・育児相談・心のケア
- ・養育状況の把握
- ・孤独・孤立の解消

お問い合わせ先

養父市社会福祉協議会 地域福祉課
養父市八鹿町下網場320 ☎079-662-0160

「みんなで支える、みんなの食卓」～食でつながる、未来をつくる～